

三川中スタンダード (令和5年度)

学校教育目標
めざす生徒像

みんな楽しく! 己を磨く 心豊かでたくましく、自ら学び続け、創造性を輝かせる生徒の育成
○思いやりがあり、心身を鍛える生徒 ○自ら学び続ける生徒 ○勤労を尊ぶ生徒

三川中生徒が伸びるプラン (学力編)

授業改善は、ふだんの授業から

話し方4か条

- ①名前を呼ばれたら「はい」と大きな声で返事をする。
- ②大きい声と正しい言葉遣いで発表する。
- ③最後まではっきりと丁寧に話す。
- ④声の大きさ、抑揚、スピード、間など

「語彙を豊かに」するために資料を活用し思考を深める。

話し方と聞き方

聞き方4か条

- ①話す人に注目して聞く。
- ②話終わるまでしっかりと聞く。
- ③自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら聞く。
- ④共感的な表情でうなづくなど反応を示しながら聞く。

めあてのある授業

- 子どもの発想・想い・関心を生かす。
- 焦点化して、指導内容を整理する。

わかる・できる授業

- つなぎ・導き・気づかせ・高める展開
- 既習・発想を生かし、伸ばす授業

ノート指導・板書の工夫

- 発達段階に応じたノート指導
- 子どもの思考の流れを構造的に可視化

学習のまとめと振り返り

- 子供の意識に沿ったキーワードでまとめる。5分間の振り返り。

授業に生かす評価

- 評価する観点を絞り込む。
- 学習評価を授業改善に生かす。

学びのマナー

- 時計を見て3分前入室 2分前着席 1分前黙想
- 背筋をのびした正しい姿勢
- 相手に伝わるあいさつと返事
- 意欲を表す挙手発表→人前力
- 共感伝わる学び合いの教室

ICT機器の活用

Chrombookを毎日使用させ、様々な使い方を覚え、ツールとして活用できる

学校全体の重点目標

4月の学力調査又は実力テストの結果から12月の検証テストで5ポイント以上向上できるように、課題を意識した授業改善を行う。

本校の課題

【共通課題】

- 自らすすんで間違いを恐れず発表すること (人前力)
- 話し手や書き手の意図を捉えながら「聞くこと・読むこと」
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして「話すこと・書くこと」
- 収集した情報を関係付けながら「話すこと・書くこと」
- 家庭学習の習慣を身につけさせること。〔生徒79% 保護者71% 教職員56%〕
↑「学校評価アンケートより」

【教科内課題】(長崎県学力調査の状況から)

- (国語科) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。
- (数学科) 事象を数学的に解釈し、問題を解決する力をつけること。
- (英語科) 既習の単語や文法等を定着させ、読解力と英作文の力をつけること。

家庭学習の習慣化

家庭学習の時間のめやす (学習塾、読書なども含む)

1年生: 2時間
2年生: 2時間半
3年生: 3時間

- 予習・復習の習慣化
- Chrombookの活用
- 自主学習の定着

学級経営の充実・自主学習の充実・朝読書・朝自習の充実

心の教育を基盤とする生徒指導

家庭との連携